

(独) 森林総合研究所
森林農地整備センター
大分水源林整備事務所

平成24年度 大分県農林水産祭でセンター事業をPR

大分県農林水産祭「おおいたみのりフェスタ（主催：大分県農林水産祭実行委員会・大分合同新聞社）」が10月20日（土）～21日（日）に、大分県別府市内で開催されました。

本祭典は、大分県の農林水産物の魅力を発信するため年に一度開催されていますが、今年は、7月の豪雨で県内の農林水産業に多くの被害が出たことから、災害に負けない底力を示す場を目指して新鮮な山海の幸が集められ、各種の体験・PRコーナーが設けられました。

大分水源林整備事務所は、今年が初参加で、8人の職員が会場に赴き、木製品・林産物販売ゾーンにブースを設置し、事業内容の紹介やPRとともに、「マツボックリや葉脈標本」を使った体験工作を行ないました。



パネルや写真による、森林の持つ公益的機能・森林整備の役割や水源林造成事業の重要性、効果についてのPR活動の様子



「マツボックリ」等を使った工作や、「葉脈標本」を使ったしおりづくりの様子

当日は好天に恵まれ、さわやかな秋晴れの下、祭典の開始早々たくさんの親子連れの方々にお立ち寄りいただきました。

おかげさまで2日間、朝から夕方まで、体験工作用に準備していた14席が空くことなく、順番待ちも出るほど、たくさんの方にお越しいただきました。

2日目の後半には、マツボックリ工作に使っていた木のコースターがなくなってしまいましたが、隣の国有林（大分・大分西部森林管理署合同）出展ブースで丸太切り体験が行われており、子供達が丸太切りをして作ったコースターで、更に、マツボックリなどの体験工作を行うという、思いがけない出展ブース間の連携もありました。

今後も、このような機会を通じ、森林の持つ役割や水源林造成事業の効果について、県民の皆様にご理解いただけるよう努めるとともに、工作体験などにより、子供達に「木」に関心を持ってもらえるよう取り組んでまいります。



【開催概要】

開催日 平成24年10月20日（土）～21日（日）

開催場所 大分県別府市 別府公園

来場者数 約500人

（森林農地整備センター参加者 8名）